

★「仲間がひろがる環境展」環境フォーラムが開催されました 6月10日開催

6月2日(日)13時より、(財)兵庫県勤労福祉協会 兵庫県中央労働センターにおいて、同センターが主催する「仲間がひろがる環境展」環境フォーラムが開催され、各関係団体から約70名が参加しました。

まず始めに主催者を代表して(財)兵庫県勤労福祉協会相談役 久保敏彦様から「つながり」に触れた挨拶があり、続いて、(財)ひょうご環境創造協会理事、NPO法人環境創生研究フォーラム理事長 小林悦夫様から「NPO活動における連携」と題した基調講演が行われました。小林様からは「お城の石垣は異種異形の石が隙間なく積み上げられているため強固なのです。これからのNPOのあるべき姿も、お城の石垣となることが必要で、自己主張はしながらも複数のNPOが団結し、活動していくこと、いわゆる『異体同心』が必要なのです。」とのメッセージが述べられました。

続いて、神戸夙川学院大学専任講師 河本大地様から「地域多様性の発想と小さな暮らしの価値」と題した講演が行われました。河本先生からは「最近『地域の個性』や『地域生態システム』の喪失・崩壊、すなわち自然環境、および自然の中で生きてきた人間の在り方が喪失・崩壊しています。地域多様性の考える上でのキーワードは『生存』と『幸福』で、地域多様性の発想が大切なのです。その地にもっとも適した暮らしが環境を良くするのです。」との思いが述べられました。

「その地にもっとも適した暮らし」とは？

- 自分の地域、関わっている地域の価値（役割）を探る！
- 大事なのは、「そこそこの納得感」
- 「楽しいことは、正しいこと」
- 地のもの、応援したい地域のものを使おう！

その後、環境活動事例の紹介が各団体から行われました。発表された団体および事例は以下の通りです。

- 「ごみ発生抑制の実施事例 減装ショッピングについて」 NPO法人ごみじゃぱん事務局長 小島 理沙様
- 「岐阜蝶の舞う里山づくり」 NPO法人野生生物を調査研究する会理事 今西 将行様
- 「神鋼環境ソリューション労働組合が取り組む社会貢献(環境)活動」 エコユニオン事務局長 川端 健
- 「三菱重工業労組神船支部における福祉への取り組み」 三菱重工業労組神船支部執行委員 福岡 琢也様

事例紹介の後、特別ゲストのマエストロ足立さんによる廃物を利用したリサイクル手作り楽器による楽しい演奏会が催されました。



▲リサイクル手作り楽器の演奏会風景

最後に、仲間がひろがる環境展実行委員会代表の関谷久之様から「社会貢献活動を行うにあたってはその活動が『やりたいこと』『できること』『求められていること』の全てを満たさなければならぬ。その上で、ビジョンを共有し、実際の生活に反映させ、それを定着させることが大切である」との強いメッセージでまとめられました。

参加者からは「講演の内容は大学での勉強にも関わっていた部分だったので、興味深く、久しぶりに大学に戻ったような気持ちになりました」「それぞれに意味があって、前向きな姿勢で本気の社会貢献に対するの思いが感じ取れました」等の感想が聞かれました。



▲環境フォーラム当日神鋼労組加古川支部のBDFカーを展示しました



▲会場のパネル展示風景